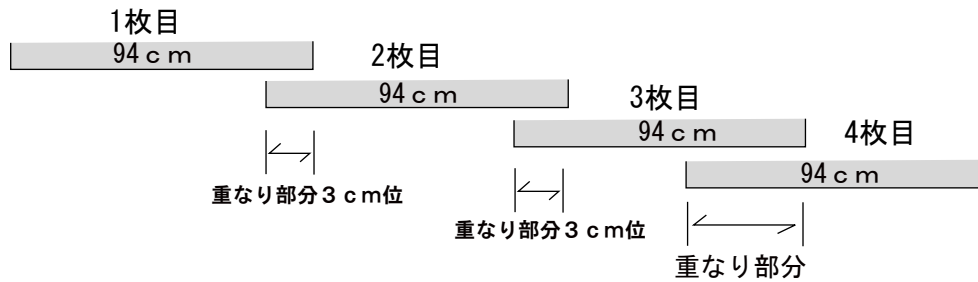
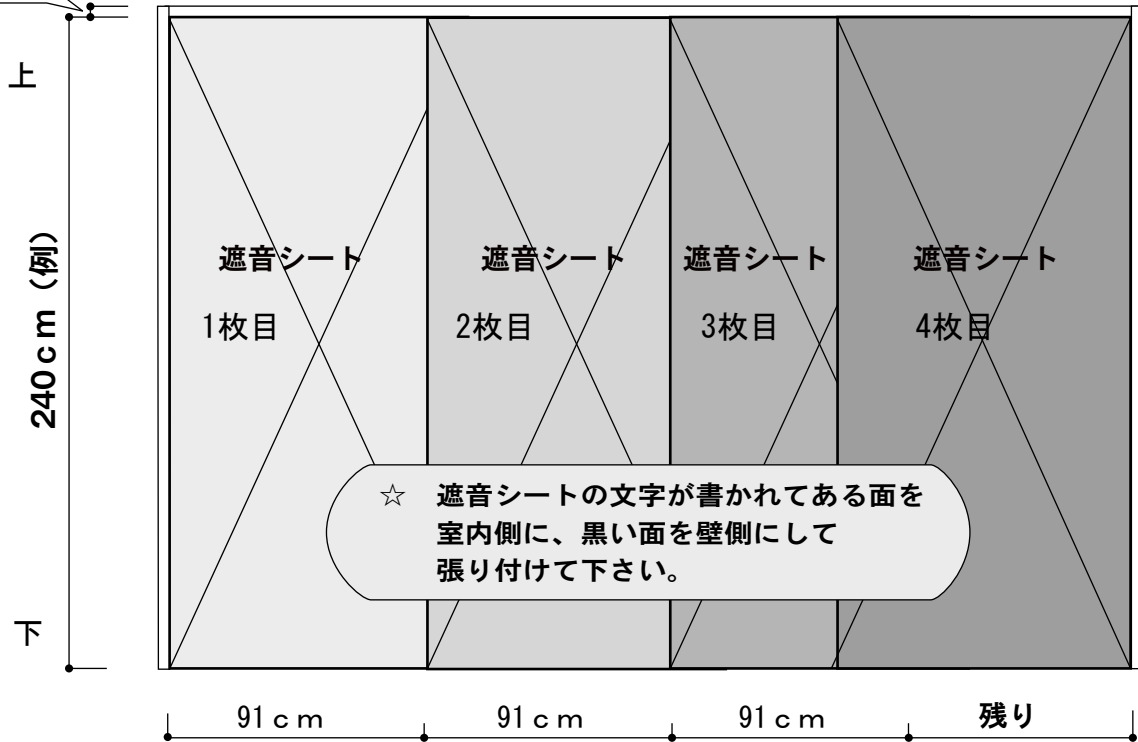


例、6帖間 長辺方向の場合

必要な画びょう (1枚目から4枚目) 普通の画びょう 20X4=80個

※重ね張りする場合 (5枚目から8枚目) 長足画びょう 20X4=80個

枠の高さ

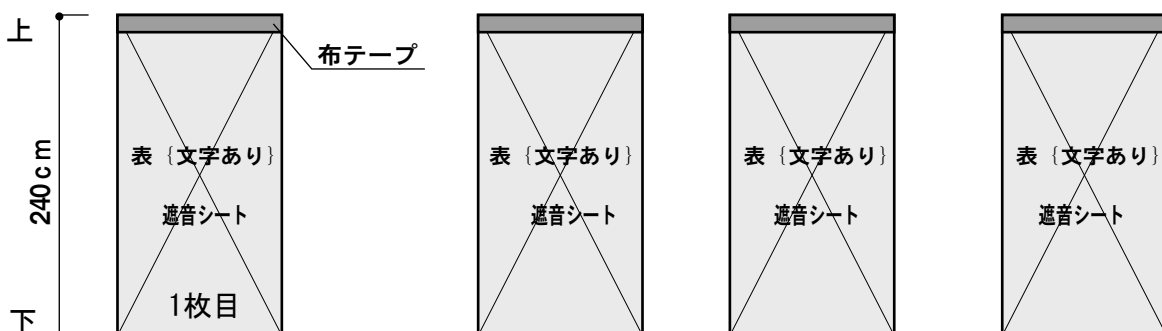


床から天井までの高さから枠の高さを引いた高さ { 例、240 cm } が遮音シートを張る長さです。

- この長さに2 cm 足してその長さで遮音シートを切ります。 { 例、242 cm }
例の場合、4枚分切ります。

注 遮音シートに塗料を塗って仕上げる場合、この時に塗料を塗っておいても構いません。

- 布テープを遮音シートの上端の部分に貼ります。(例、4枚とも)
(画びょうで張るための補強のためです。後ではがします。)



画びょうで張り付け 2

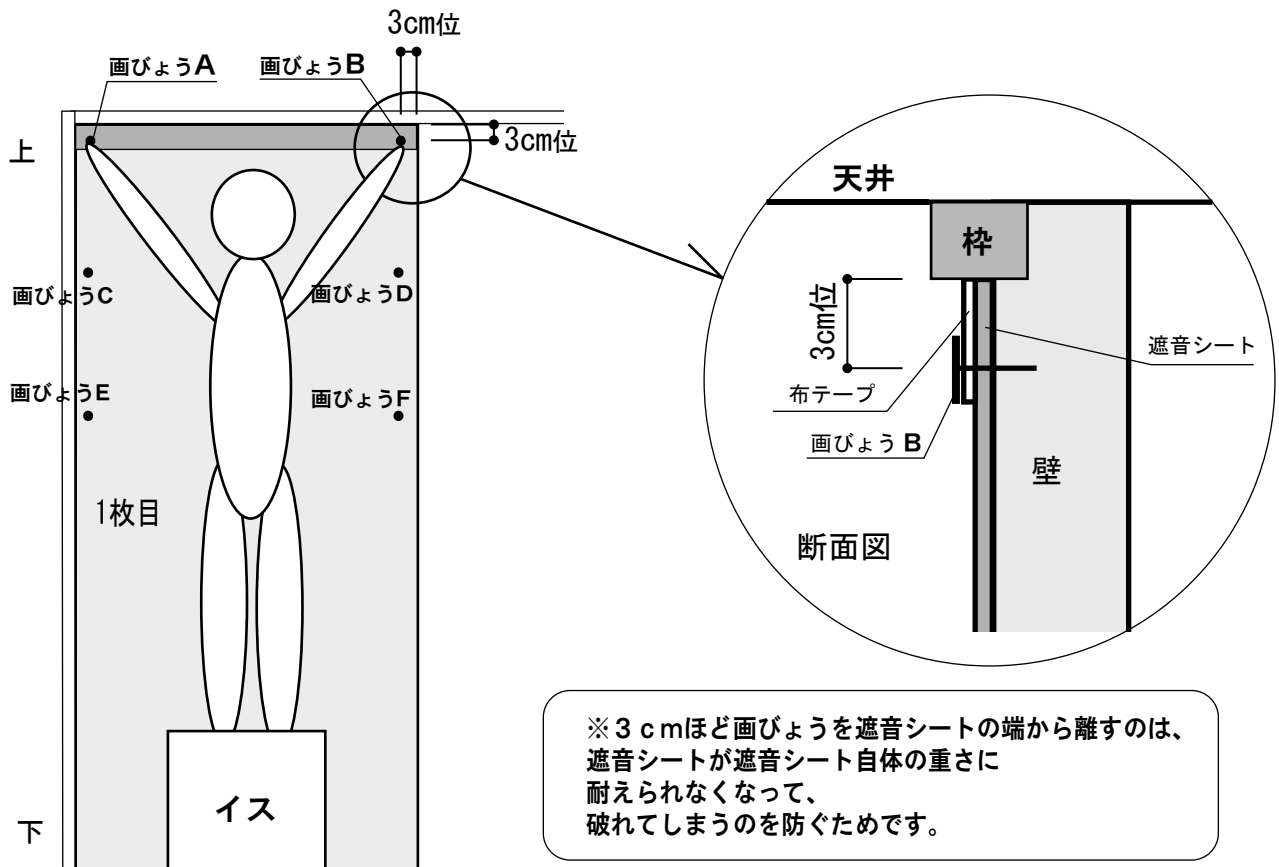
3. 壁に張り付ける前に画びょうA, Bを布テープの上から3cm下げた所(2ヶ所)に刺しておきます。(下図) 続いて、4つの画びょうを遮音シートに 下図C,D,E,Fのような位置)刺しておきます。(大まかな位置で結構です。)

4. そして、上端の画びょう[A, B]の部分を持って遮音シートを一気に引き上げて壁に張りつけます。

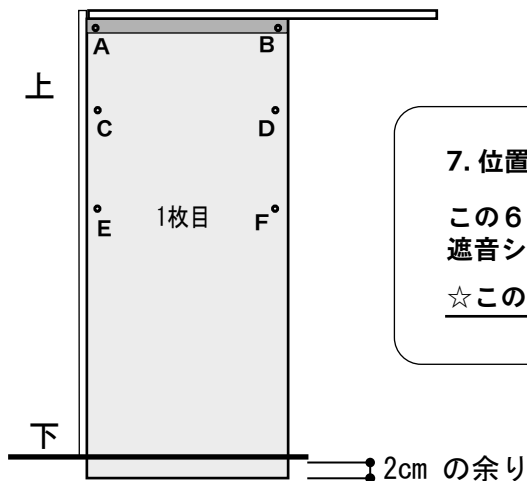
※遮音シートの長さ2.5mで約4kgです。重い場合は、半分に切って張りつけてください。(長さに余裕があり、3cmの重なりがあれば、遮音性能に変わりはありません。)

5. 張るとき、なるべく隙間ができないように張ります。(多少ズレてもかまいません。後で調整することができます。)

※ A,Bの画びょうをしっかり押し込んでください。



6. 2つの画びょう(A,B)を押し込んだ後、残りの画びょう4つ(C,D,E,F)も押し込みます。



7. 位置の調整

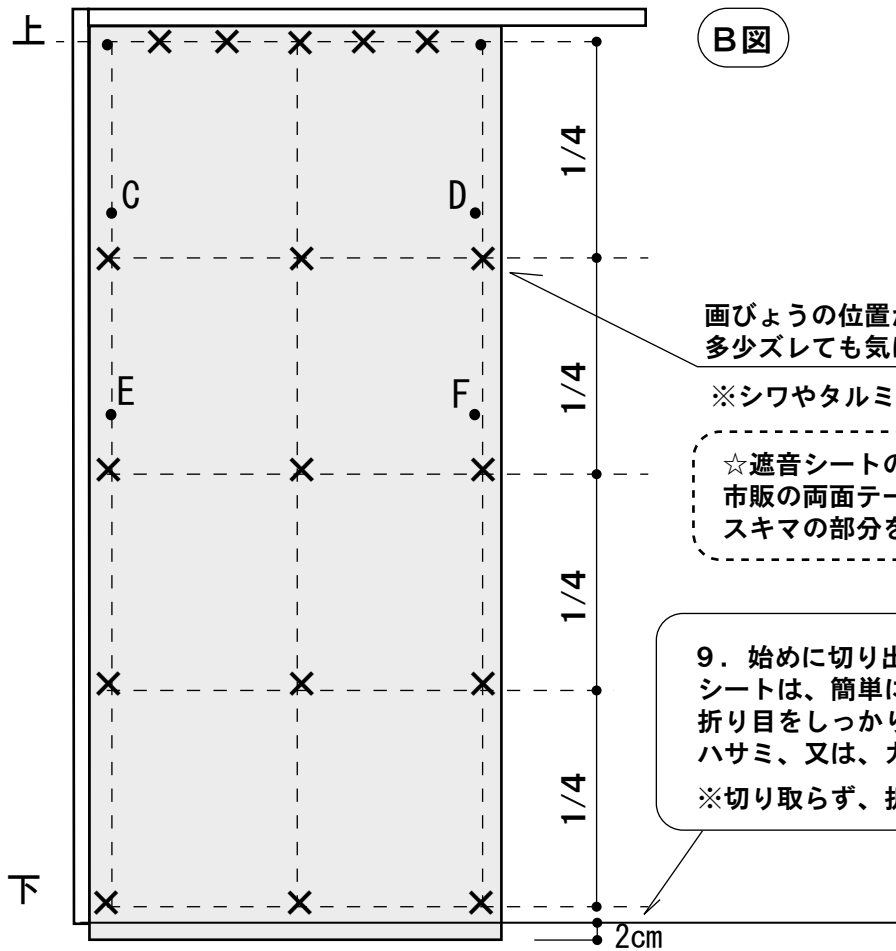
この6つの画びょうのうちの2つをはずしながら、遮音シートの位置を合わせます。

☆この時に布テープをはがします。

画びょうで張り付け 3

8. B図の×印の位置に画びょうで張り、その後、仮止めの画びょう4個(C,D,E,F)を外します。

※ 状況に応じて画びょうの量を増やして下さい。



画びょうの位置が多少ズレても気にしないで張っていきます。

※シワやタルミができないように張ります。

☆遮音シートの継ぎ目にスキマができた場合は、市販の両面テープで構いませんので、スキマの部分を塞いで下さい。

9. 始めに切り出した余分の2cmを切り取ります。シートは、簡単に折り目がつきますので、折り目をしっかりつけて、ハサミ、又は、カッターで切り取ります。

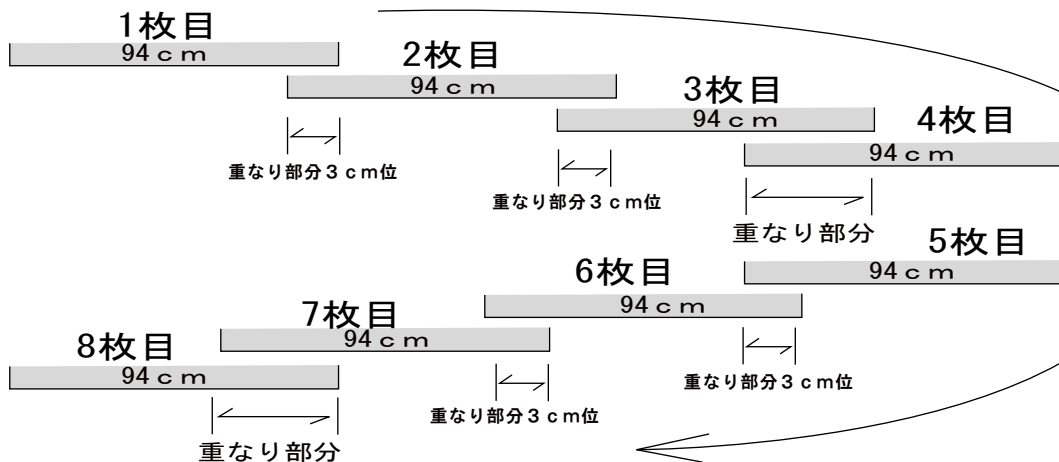
※切り取らず、折り目をつけて置くだけでも結構です。

10. 2,3,4枚目も同様に張っていけば、完成です。

11. 重ね張りする場合は、この手順を今度は、逆方向から繰り返します。

※ 逆方向から張る事で画びょうの位置をずらせます。

☆ 5枚目以降は長足画びょうを使用します。



12. 仕上げは、塗料を塗ります。

塗料を薄めないで3度塗りをします。(表面の文字が消えるまで。)

※塗料は、水性アクリル塗料を使用して下さい。

☆ 塗料を塗る時、他の部分に塗料がつかないように十分にマスキングをしてから行なって下さい。

タッカーで張り付け。 1

タッカー



注 壁面にコンセントボックス
スイッチボックスがある場合は、
説明書F（6p）を参照してください。

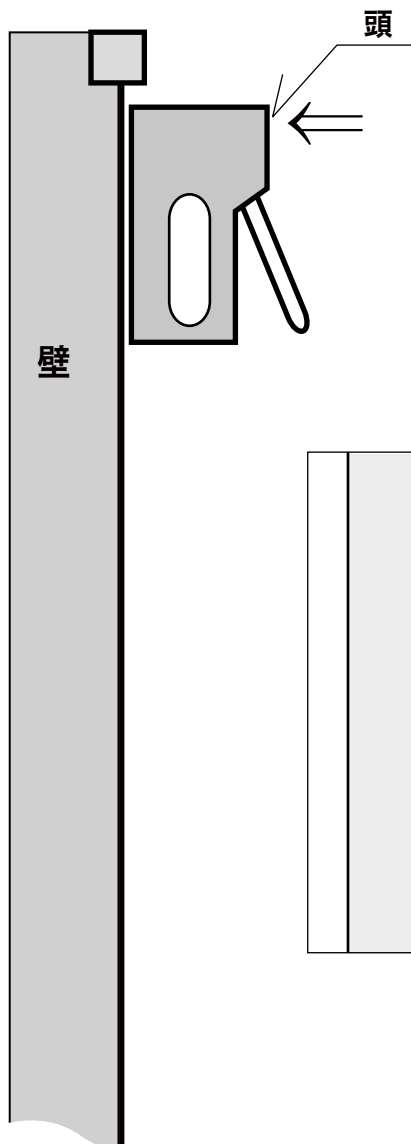
マックス製
ホビータッカー
1000円

※メーカー、性能によって値段は、変わりますが、
1000円から4000円位です。

☆ タッカーで張りつける場合も手順は、途中まで画びょうで張りつける場合と同じです。

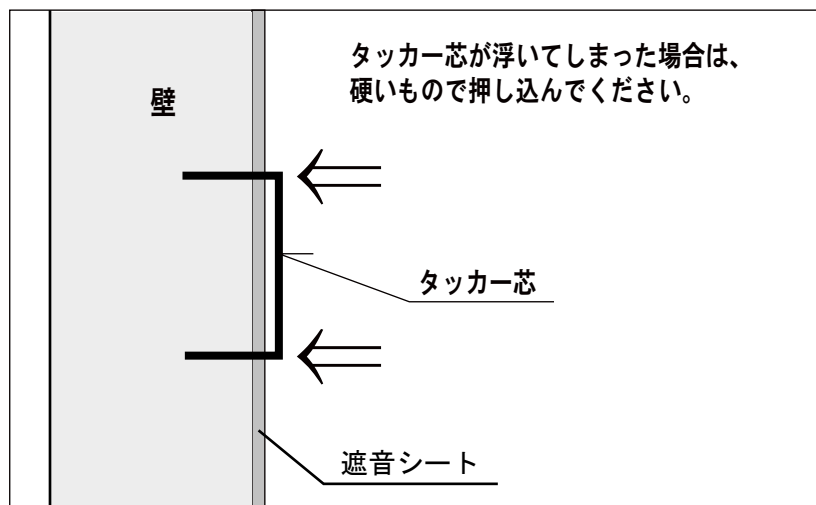
画びょうで張り付けの手順 1 から 7 まで（位置の調整まで）を参照

☆その後は、次ページ。



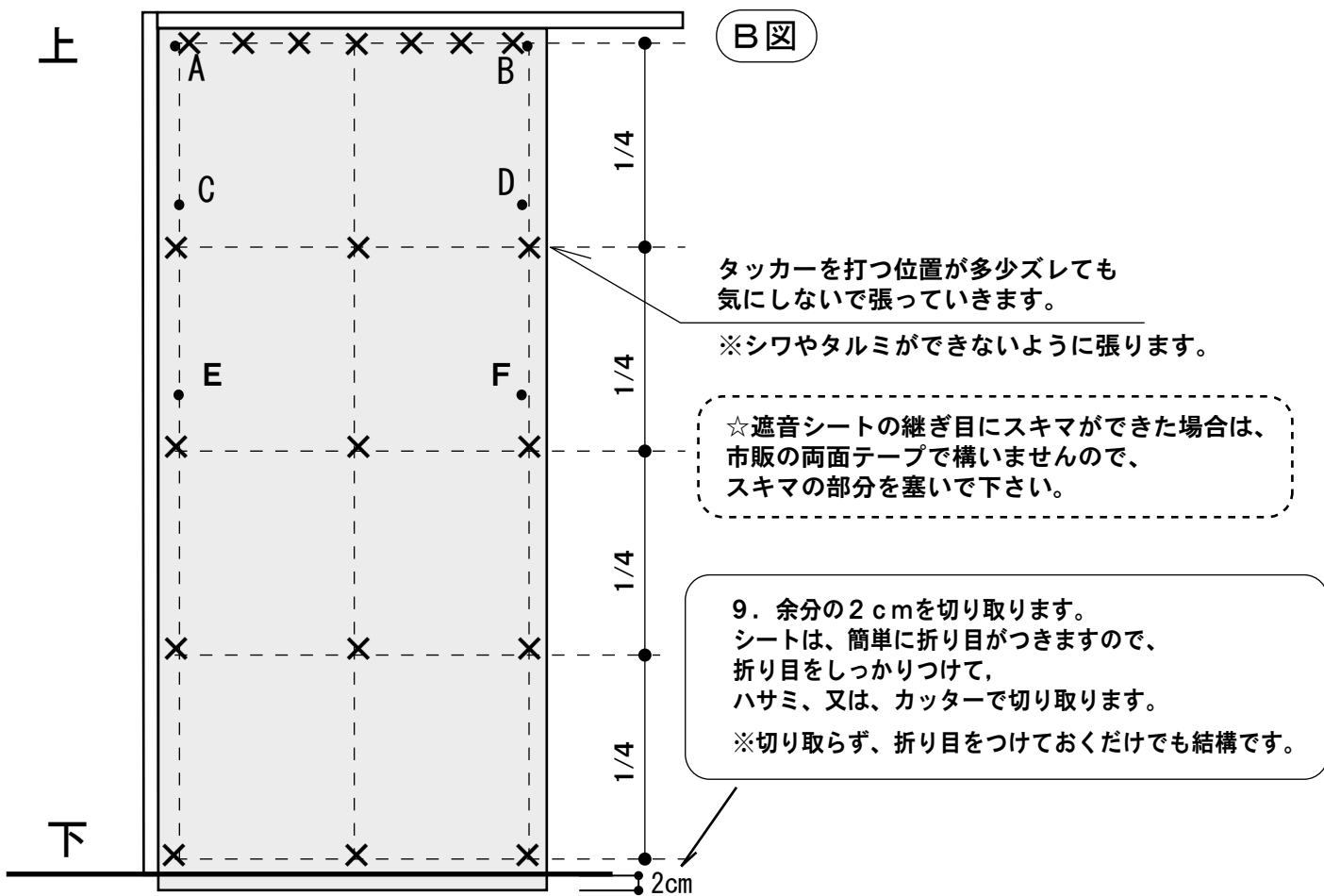
タッカーの打ち方

頭をしっかり押し付けて壁に垂直に打ってください。



8. B図の×印の位置にタッカーで打ち付け、その後、仮止めの画びょう6個(A,B,C,D,E,F)を外します。

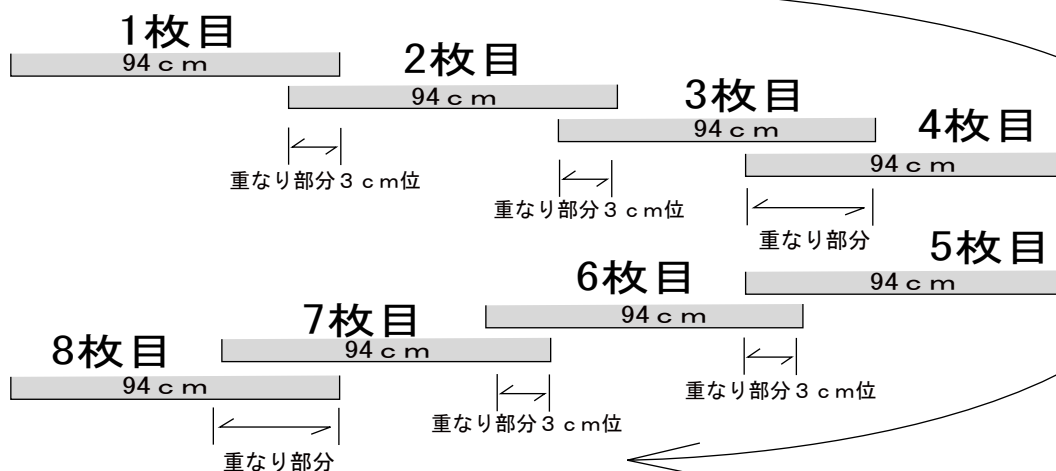
※ 状況に応じてタッカーを打つ数量を増やして下さい。



10. 2,3,4枚目も同様に張っていけば、完成です。

11. 重ね張りする場合は、この手順を今度は、逆方向から繰り返します。

※ 逆方向から張る事でタッカーの打ち付け位置をずらせます。





12. 仕上げは、塗料を塗るか、壁紙を貼ります。

塗料を塗って仕上げる場合、塗料を薄めないで3度塗りを行います。(表面の文字が見えなくなるまで。)

※塗料は、水性アクリル塗料を使用してください。

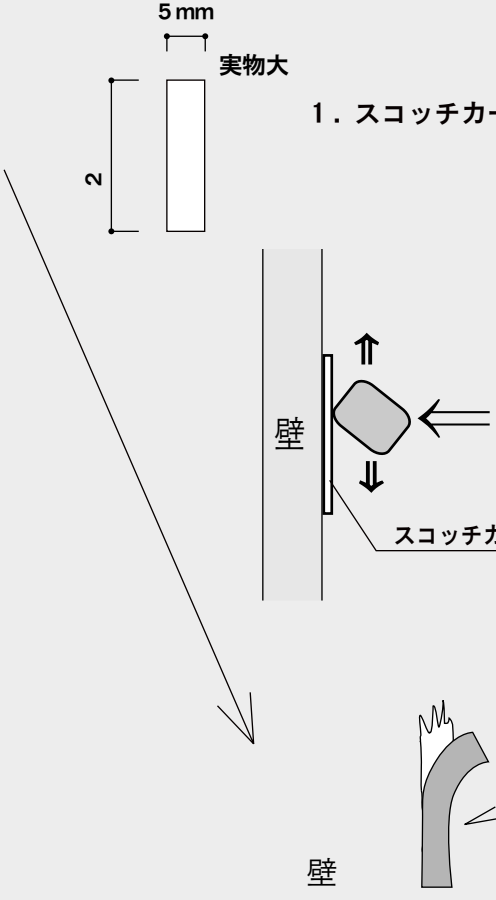
☆ 塗料を塗る時、他の部分に塗料がつかないように十分にマスキングをしてから行って下さい。

壁面のテスト スコッチカーペット用両面テープの使える壁、使えない壁

スコッチカーペット用両面テープの使える壁	スコッチカーペット用両面テープの使えない壁
 <p>堅牢な油性塗料の壁 金属面の壁 硬く平滑なビニール樹脂製の壁紙 モルタル壁（表面の滑らかな壁）</p>	 <p>繊維壁 凸凹のあるビニールクロス。 紙クロス。 砂壁。 京壁。</p>

（テープをはがした時に、壁の塗料やクロスの表面が一緒にはがれてしまう場合は、スコッチカーペット用両面テープは、使えません。）

壁面のテスト （どんな種類の壁でもテストしてください。）



1. スコッチカーペット用両面テープを 2センチ X 5ミリ の大きさに切ります。
2. 目立たない場所にはく離紙をはがさないで、壁に弱粘着力面を貼り、上から、ピン等の底の滑らかな部分で強く押しつけます。
3. テープを静かにはがします。
[はく離紙は、テストでは関係ありません。]
この時に、壁の塗料やクロスが一緒にくっついて、はがれるなら、スコッチカーペットテープは使えません。
又、簡単にテープが壁からはがれてしまっても、スコッチカーペットテープは、使えません。（保持力不足）ある程度の抵抗が必要です。

湿度の高い場所には、スコッチカーペット用両面テープは、使えません。

壁に結露の発生する場合は、スコッチカーペット用両面テープを使用して貼りつけても遮音シートがはがれてしまいます。

☆スコッチカーペット用両面テープを使えない場合は、
タッカー、画びょうを使って張り付ける方法
合板を設置してその上に張り付ける方法 等があります。
説明書 Dのチェックシートを参照してください。

スコッチカーペット用両面テープで張り付け A

重要 貼り付ける前に 壁面のテスト（別紙）を必ず行なってください。

用意する両面テープ

例、6帖間 長辺方向の場合（横巾約3.5m、高さ約2.4m）

スコッチカーペット用両面テープ ————— 24 m

日東電工製 強力両面テープ 塩化ビニール用（薄いタイプ）——— 20 m

取扱商品

※遮音シートの継ぎ目に使用します。

※重ね張りする場合 日東電工製 カーペット用両面テープ（強力タイプ）——— 24 m

[5枚目から8枚目]

日東電工製 強力両面テープ 塩化ビニール用（薄いタイプ）——— 20 m

取扱商品

※遮音シートの継ぎ目に使用します。

※両面テープは、上記の両面テープを使用してください。
他のメーカーのテープは、粘着力、耐久性が異なります。

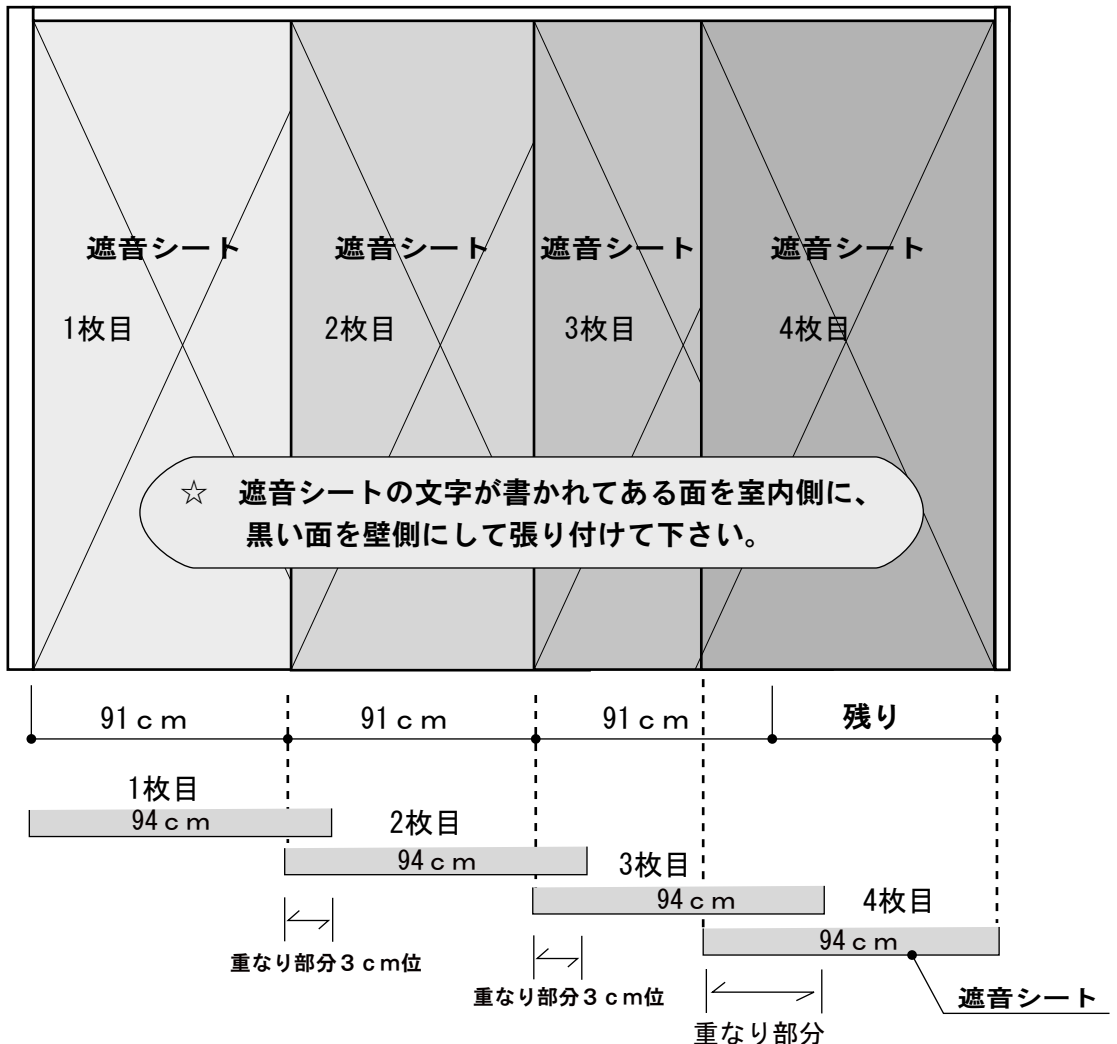
枠の高さ

上

240 cm (例)

下

例、6帖間 長辺方向の場合（横巾約3.5m、高さ約2.4m）



床から天井までの高さから枠の厚みを引いた高さ { 例、240 cm } が遮音シートを張る長さです。

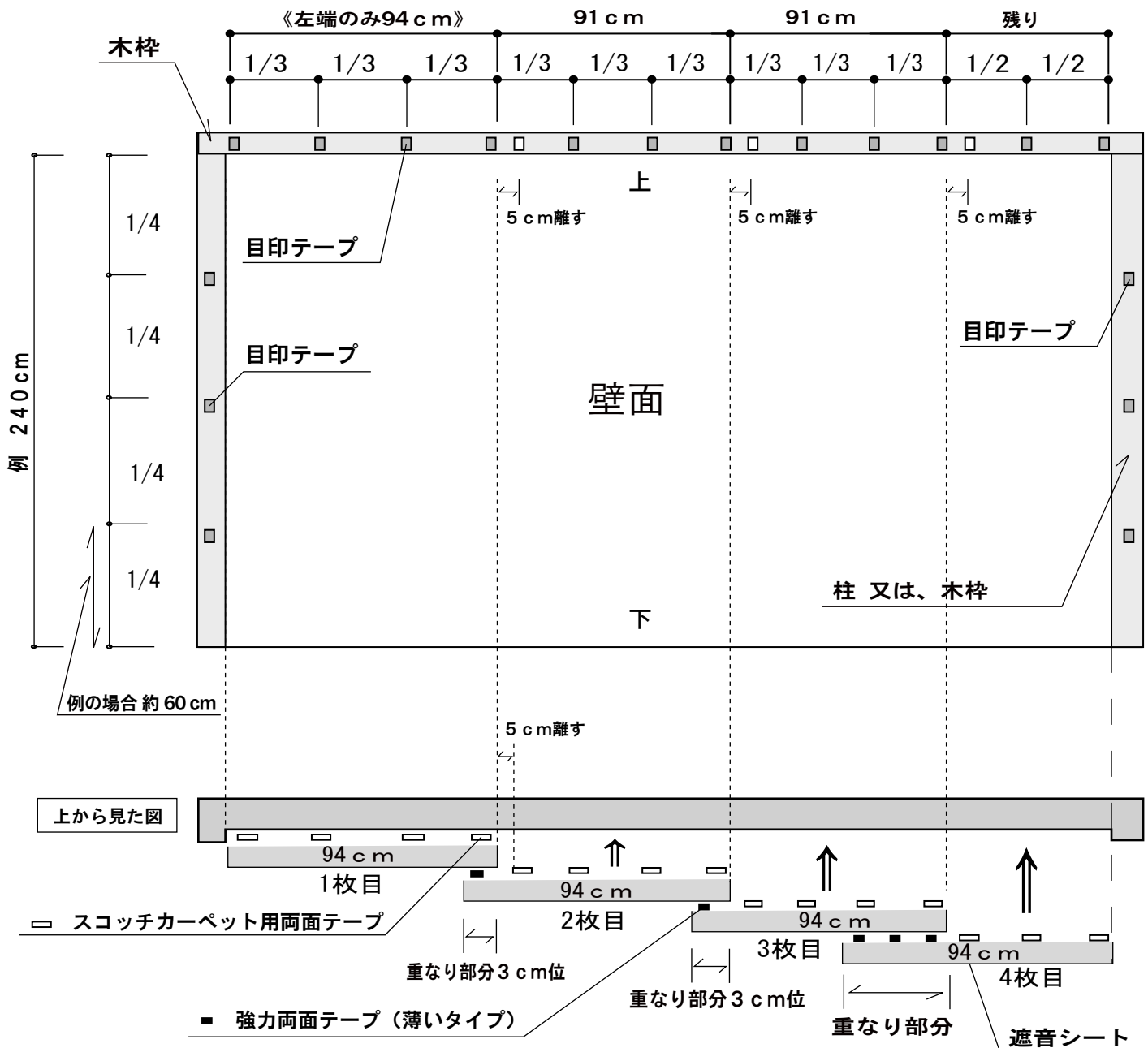
- この長さに 2 cm 足した長さで遮音シートを切ります。 { 例、242 cm } (例の場合、4枚分切ります。)

注 遮音シートに塗料を塗って仕上げる場合、この時に塗料を塗っておいても構いません。

遮音シートを張る壁面が汚れていると接着力が弱まります。
ぬれた雑巾などで壁面全体を拭いてください。

2. スコッチカーペット用両面テープを張る位置を決めるため、
下図の位置に目印のためのテープを貼ります。

(位置が分かればどんなテープでも構いません。)



手順2から5までの作業は、壁面に遮音シートを効率的に保持する為に必要な手順ですが、
時間の節約の為、この作業を省きたい場合は、
使用する両面テープの量を1.5倍程度に増やして、壁面にできるだけ均等に張るようにして下さい。

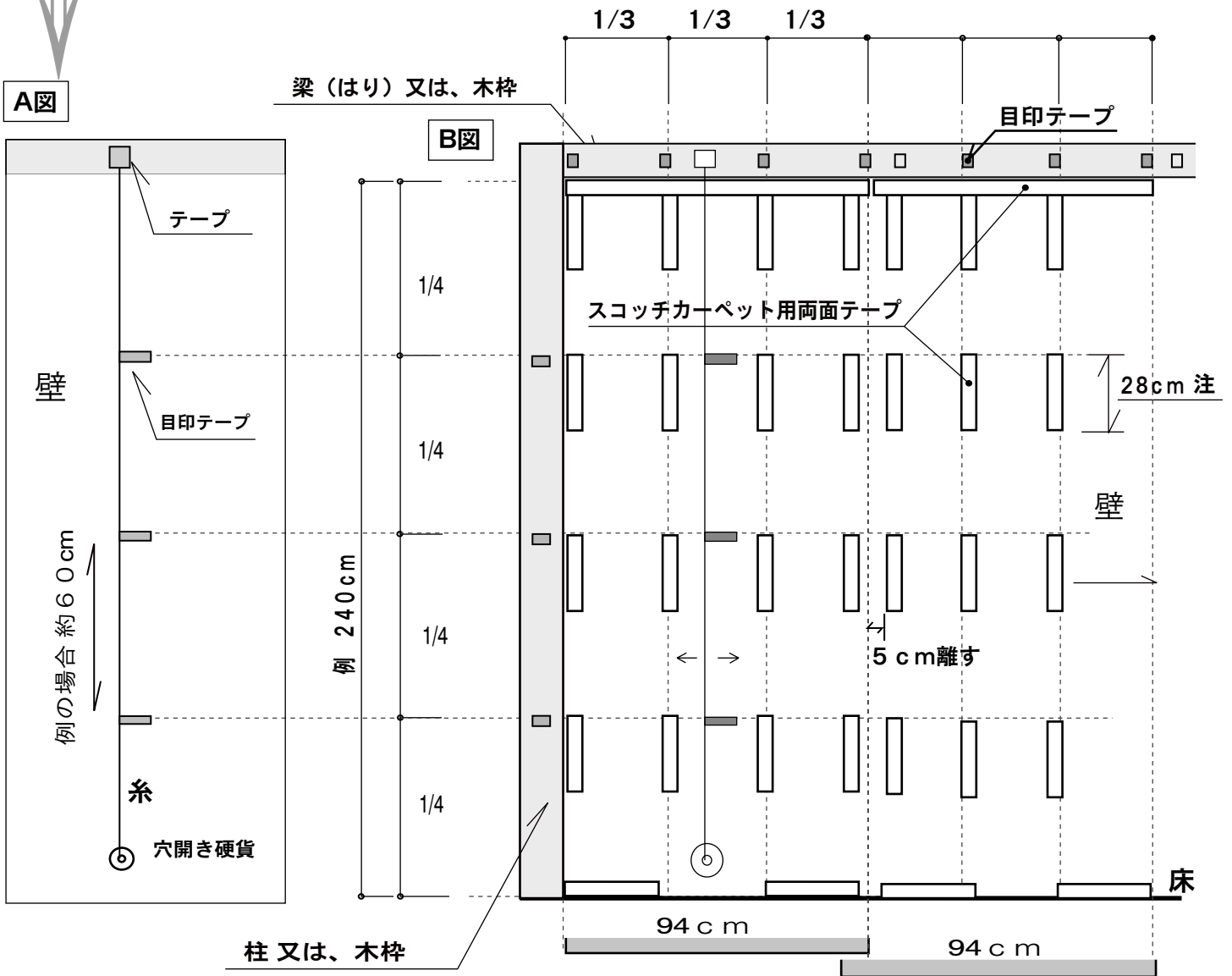
※ 遮音シート 2.5 m に対しての両面テープの必要量を 9 m にして下さい。(6 m X 1.5 = 9 m)

スコッチカーペット用両面テープで張り付け。 C

3. 穴開き硬貨と糸、テープを使って垂直糸定規を作ります。(A図)

4. スコッチカーペット用両面テープを28 cmの長さに切ります。(4 cm x 28 cm)

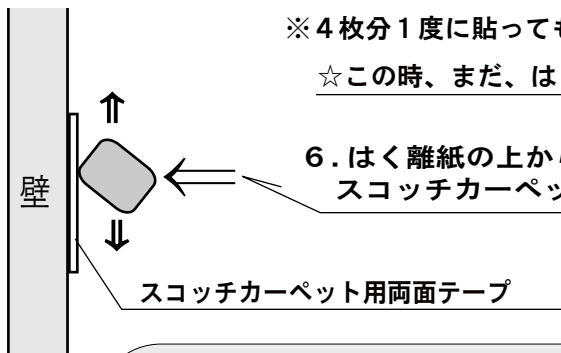
5. スコッチカーペット用両面テープの弱粘着力面を壁側としてB図の様に貼ります。
 ※多少のズレは気にしないで貼ります。
 ※まだ、はく離紙はがさないで下さい。



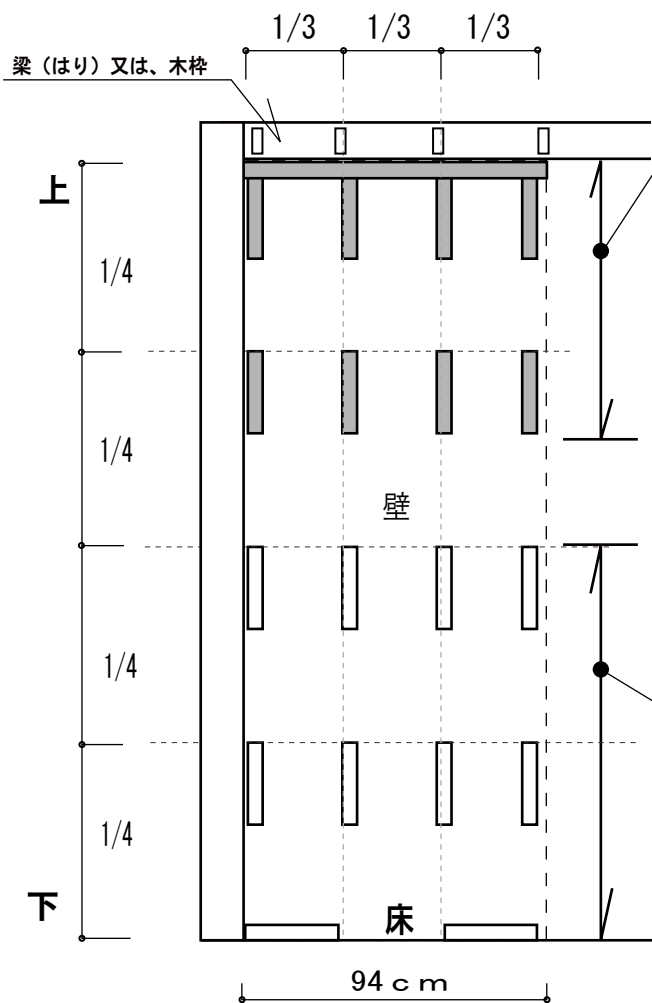
※4枚分1度に貼っても、1枚分ずつ貼っても、どちらでもかまいません。

☆この時、まだ、はく離紙は、はがしません。

6. はく離紙の上から硬いもの(ビンの底の滑らかな部分等)で押しつけて、スコッチカーペット用両面テープを壁に強く圧着します。



注 スコッチカーペット用両面テープを切る長さは、2枚までの重ね張りの場合、28cmです。遮音シートを3枚以上重ね張りする場合は、32cmにします。



7. 上2段のテープのはく離紙をはがします。

8. 遮音シートの上端の部分を持って一気に引き上げて張りつけます。

この時に、上の端と左の端に隙間できないように慎重に張ります。

位置がしっかり決まったら強く押しつけます。もう一度位置を確認して、ずれてない事を確認したら、

硬いもの（ピンの底の滑らかな部分等）で接着部分を上から押しつけます。

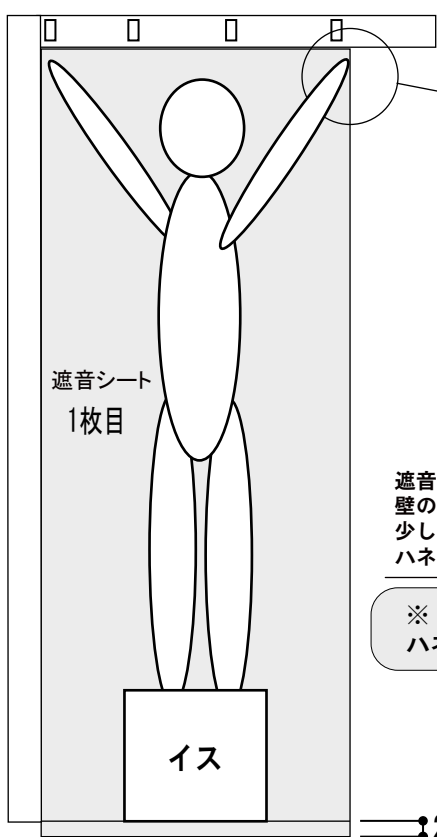
※ 遮音シート 2.5 m で約 4 kg です。
重い場合は、半分に切って張りつけてください。

（長さに余裕があり、重なり部分（約 3 cm）を確保できれば、遮音性能に変わりありません。）

9. 下3段のテープのはく離紙をはがして遮音シートを圧着すれば1枚目は完成です。

※ 微妙にずれた場合は、遮音シートを部分的にはがしながら、調整します。

注 圧着が不十分だと、時間の経過と共にはがれますので硬いもの（ピンの底の滑らかな部分等）で強く押しつけてください。



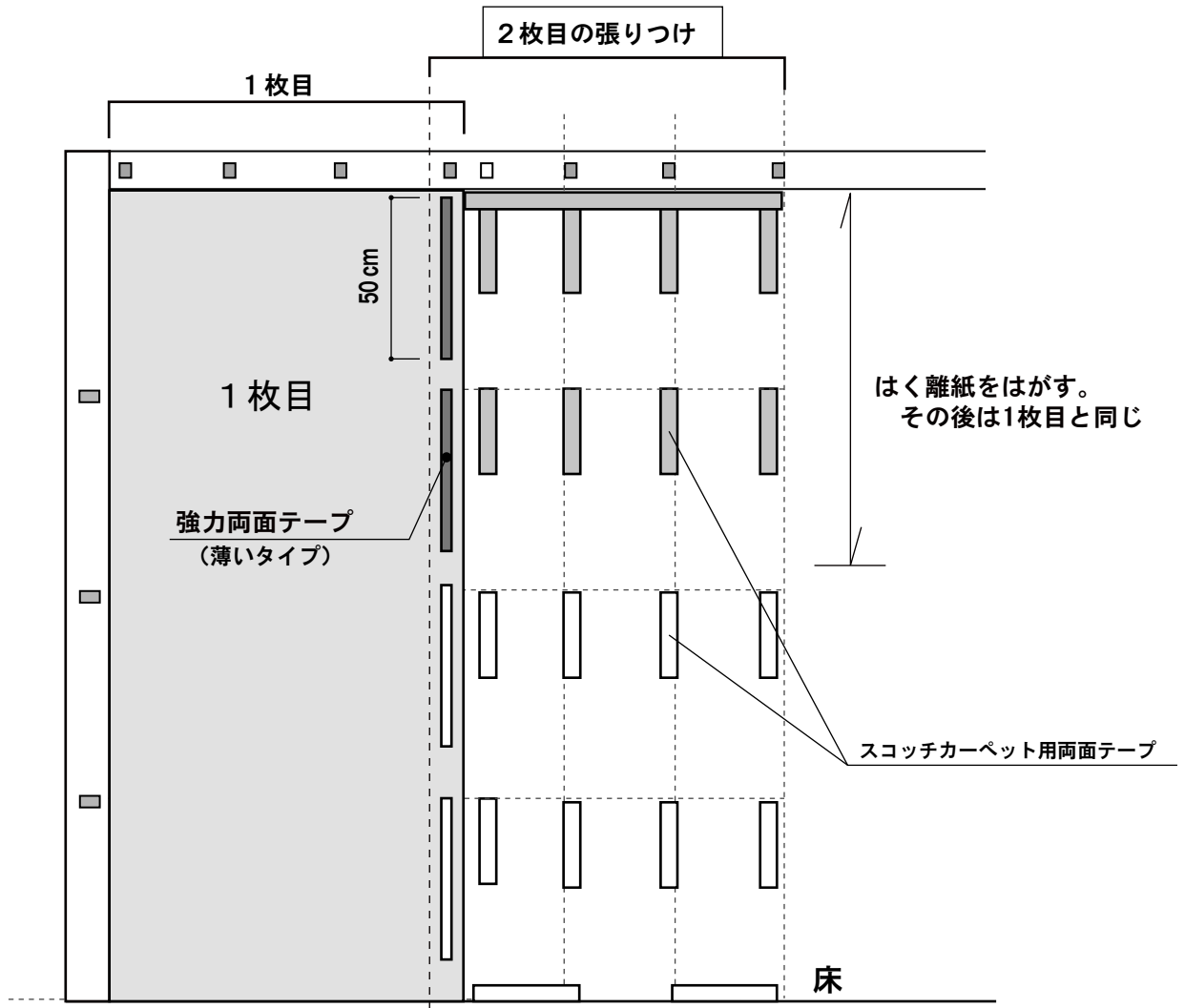
遮音シートの上端が壁の上部に当たってハネると、少しずつはがれていきますので、ハネないようにしてください。

※ このような場合、張り直すより、ハネている部分を切り取ります。

10. 始めに切り出した余分の 2 cm を切り取ります。シートは、簡単に折り目がつきますので、折り目をしっかりつけて、ハサミ、又は、カッターで切り取ります。

※ 遮音シートがうまく固定できない場合、状況に応じて、テープの量を増やして下さい。

11. 2枚目を張ります。
 下図のように1枚目の上から薄めの強力両面テープを貼り、
 上2段のはく離紙をはがします。その後は、1枚目と同じ手順で張りつけます。
12. 3枚目以降も同じ手順で張ります。

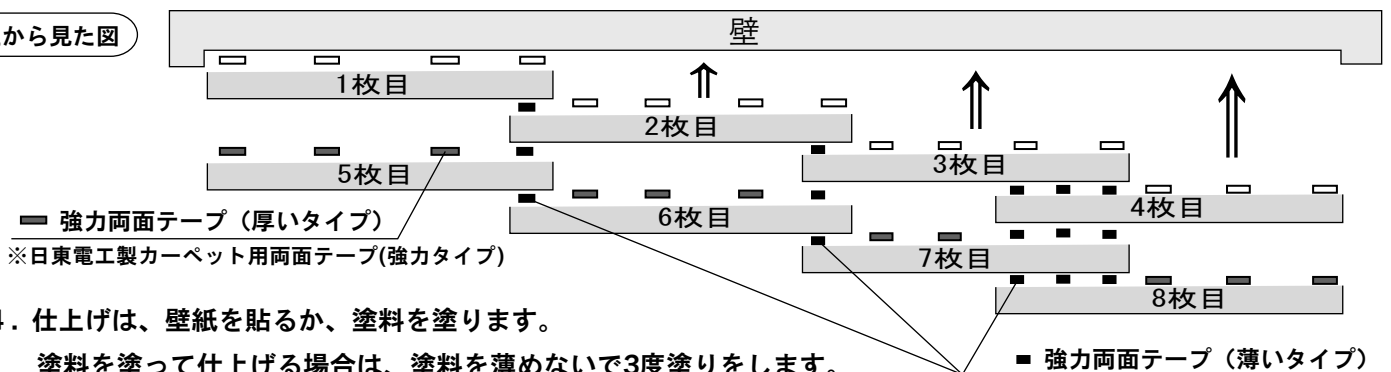


13. 重ね張りする場合は、この手順を繰り返します。(下図参照)
 同じ方向から張り、両面テープが同じ位置になるよう貼っていきます。

注 ただし、5枚目以降からはスコッチカーペット用両面テープを使わず、強力両面テープを使用します。

※日東電工製カーペット用両面テープ(強カタイプ)

上から見た図



14. 仕上げは、壁紙を貼るか、塗料を塗ります。

塗料を塗って仕上げる場合は、塗料を薄めないで3度塗りを行います。
 (遮音シートの文字が見えなくなるまで) ☆ 水性アクリル塗料を使用してください。

※ 塗料を塗る時、他の部分に塗料がつかないように十分にマスキングをしてから塗ってください。

注意

夏期には、高温状態により両面テープの接着剤が軟化して遮音シートがはがれやすくなる場合がありますので、定期的に(1ヶ月に一度ぐらい)遮音シートを壁に押し付けてください。

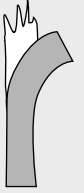
強力両面テープで張り付け

重要 強力両面テープを使用できる環境。（特に賃貸アパートマンション）

強力両面テープは、将来遮音シートをはがす際、壁のクロス面、コンクリートの塗料面、ドアの塗装面を一緒にはがしてしまいます。

たとえば、賃貸アパートマンションなどの場合、引越しの際、壁紙がきれいな状態でも壁紙をすべて張りかえるという事が決定していて、その費用も誰が負担するのか明確な場合は、使用しても問題ありません。

壁紙の状態によって張替えの判断をする場合、強力両面テープの使用は、即張り替えという事になります。その負担は、居住者側の負担になる可能性があるので、使用する場合は、十分に考慮してください。



☆ 日東電工製 カーペット用両面テープ(強力タイプ)を使用します。[取扱商品]

手順は、スコッチカーペット用両面テープで張り付ける場合と同じです。

※ 使用するテープの種類が違っただけで、張り方は、変わりません。

用意する両面テープ 例、6帖間 長辺方向（巾3.5 m、高さ2.4 m）1枚張りの場合。

日東電工製 カーペット用両面テープ（強力タイプ） 24 m
（巾3.8 cm X 長さ15 m）

※ 遮音シート2.5 mに対して両面テープ（長さ）6.0 m必要。

日東電工製 強力両面テープ 塩化ビニール用（薄いタイプ） 20 m
（巾2 cm X 長さ20 m）品番：No. 501M

※ 遮音シートの継ぎ目に使用します。（遮音シート2.5 mに対して、平均して（長さ）3 m必要。）

※ 両面テープは、上記の両面テープを使用してください。
他のメーカーのテープは、粘着力、耐久性が異なります。

☆ スコッチカーペット用両面テープを使って張り付けます。

☆ スコッチカーペット用両面テープで貼り付ける前に **壁面のテスト** を必ず行ってください。

スコッチカーペット用両面テープとは、裏面と表面の接着力が違う両面テープです。

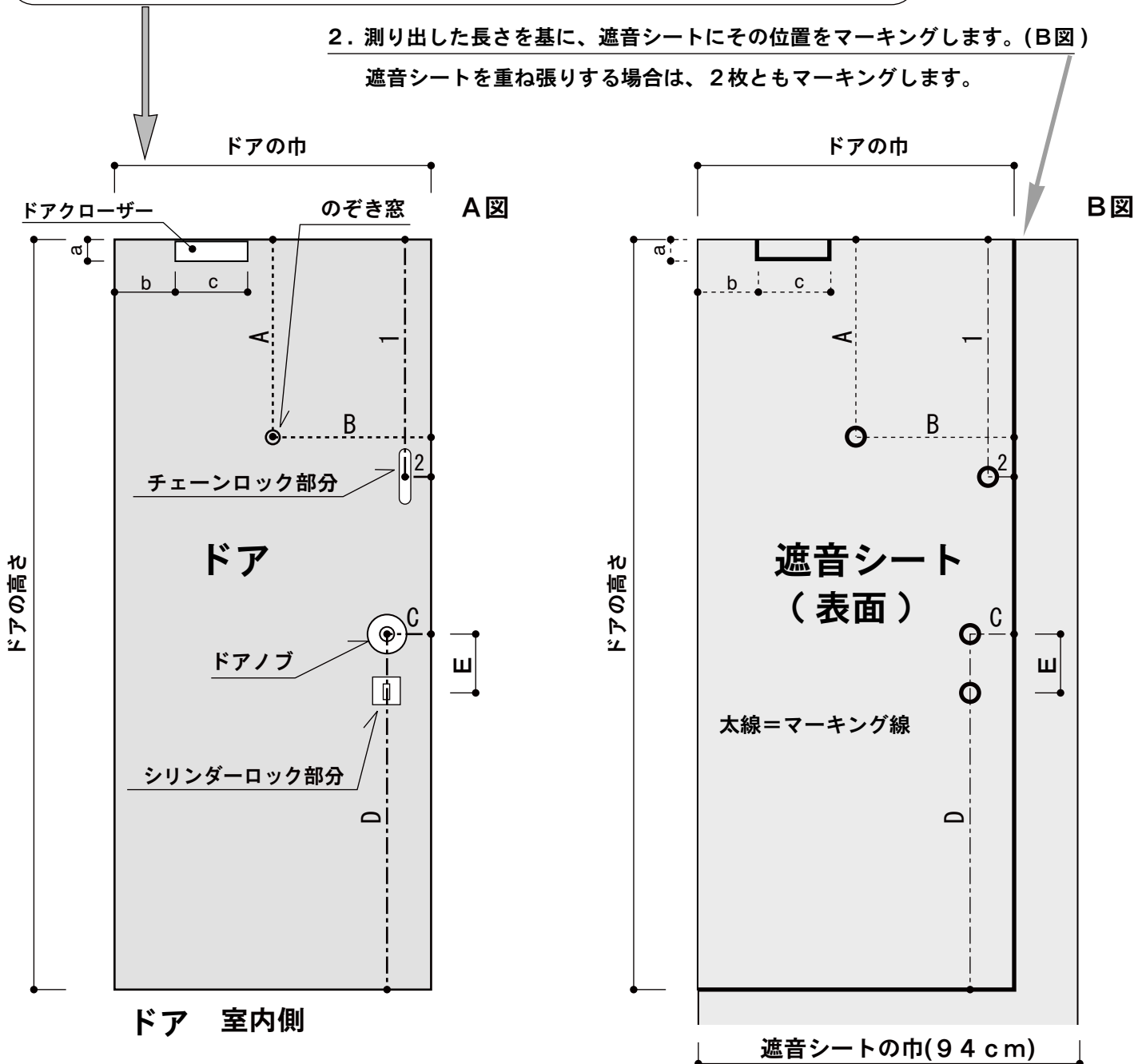
このテープを使用することにより、将来遮音シートをはがす際、下地のコンクリート塗装面、ドアの塗装面と一緒に剥がしてしまう事を避けられます。(木製ドア、細かい凸凹のあるドア、塗装被膜の弱いドアには、使えません。)

詳しいスコッチカーペット用両面テープの説明は、6ページを参照してください。

☆まず、寸法を測ります。

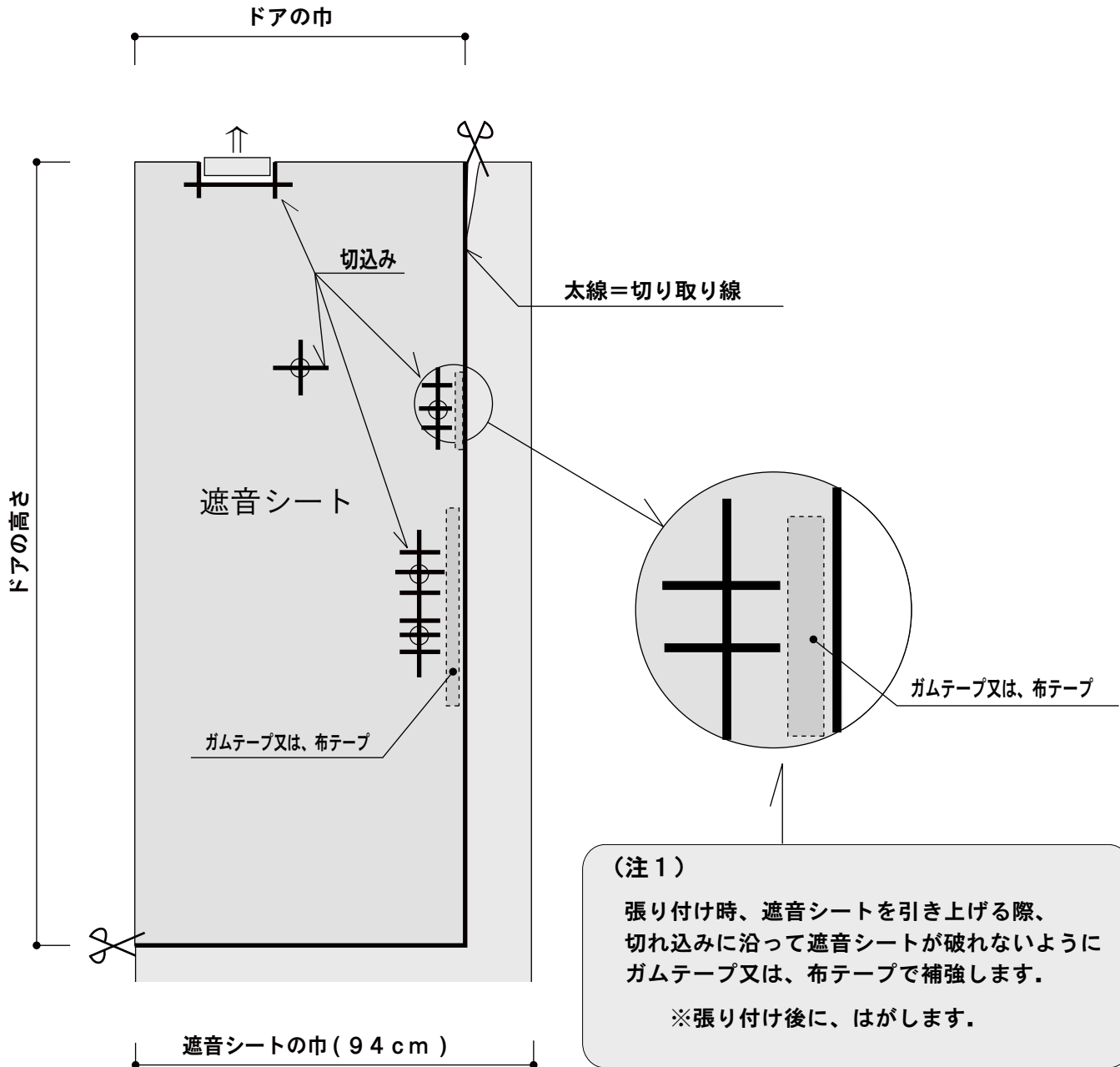
1. ドアの大きさに合わせて遮音シートを切るため、
ドアの大きさ、突起物の位置をすべて測ります。できるだけ厳密に測ります。(A図)
(誤差1cm位)

2. 測り出した長さを基に、遮音シートにその位置をマーキングします。(B図)
遮音シートを重ね張りする場合は、2枚ともマーキングします。



⑨ 遮音シートに文字が書かれている側を室内側とします。

3. ドアの外枠に合わせたラインに沿って遮音シートを切り取ります。
4. 突起物の部分にあたるマーキング個所に下図のような切込みをいれ、
補強のテープを貼ります。(注1)

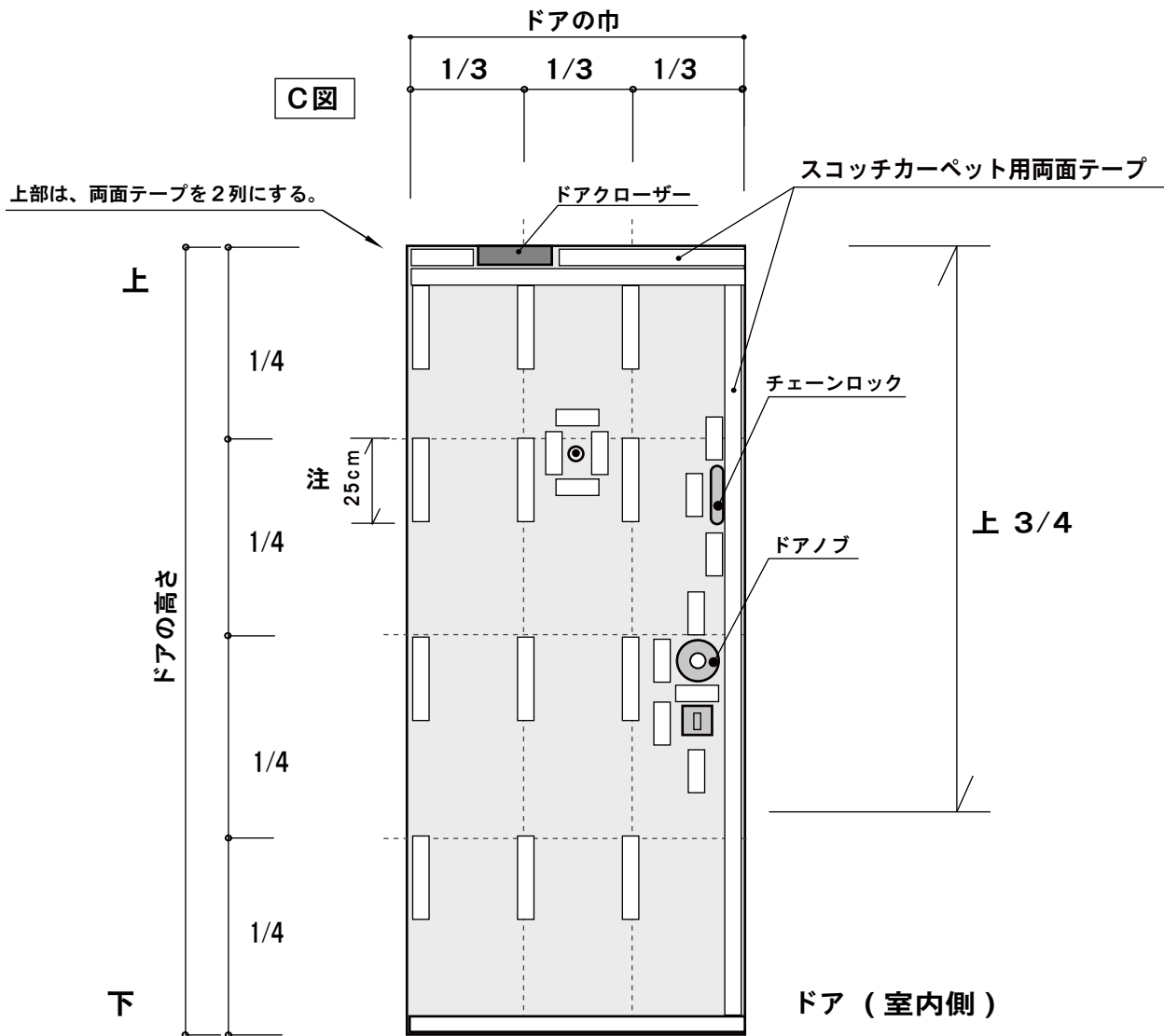


※ 遮音シートを重ね張りする場合は、2枚目も同じようにカットします。

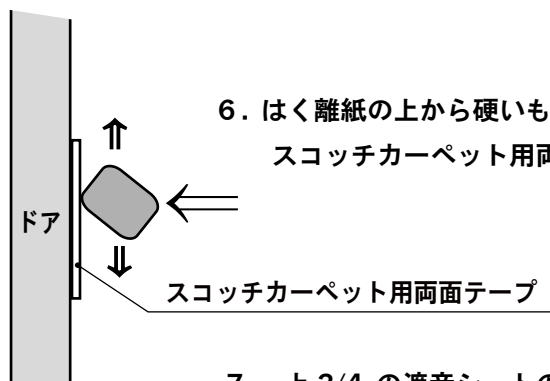
⑨ 遮音シートに塗料を塗って仕上げる場合、この時に塗料を塗っておいても構いません。

5. ドア（室内側）にスコッチカーペット用両面テープをC図のように貼ります。

※ はく離紙は、まだ剥がしません



注 スコッチカーペット用両面テープを切る長さは、2枚までの重ね張りの場合、25 cmです。遮音シートを3枚以上重ね張りする場合は、30 cmにします。



6. はく離紙の上から硬いもの（ピンの底の滑らかな部分等）で押しつけて、スコッチカーペット用両面テープをドアに強く圧着します。

7. 上 3/4 の遮音シートのはく離紙をはがします。

8. ドアを開けた状態にして、ドアが動かないように固定します。

9. 遮音シートの端の部分を持って一気に引き上げて室内側に張りつけます。

この時に、遮音シートの端とドアの端がずれないように慎重に張ります。

位置がしっかり決まったら上部から強く押しつけます。

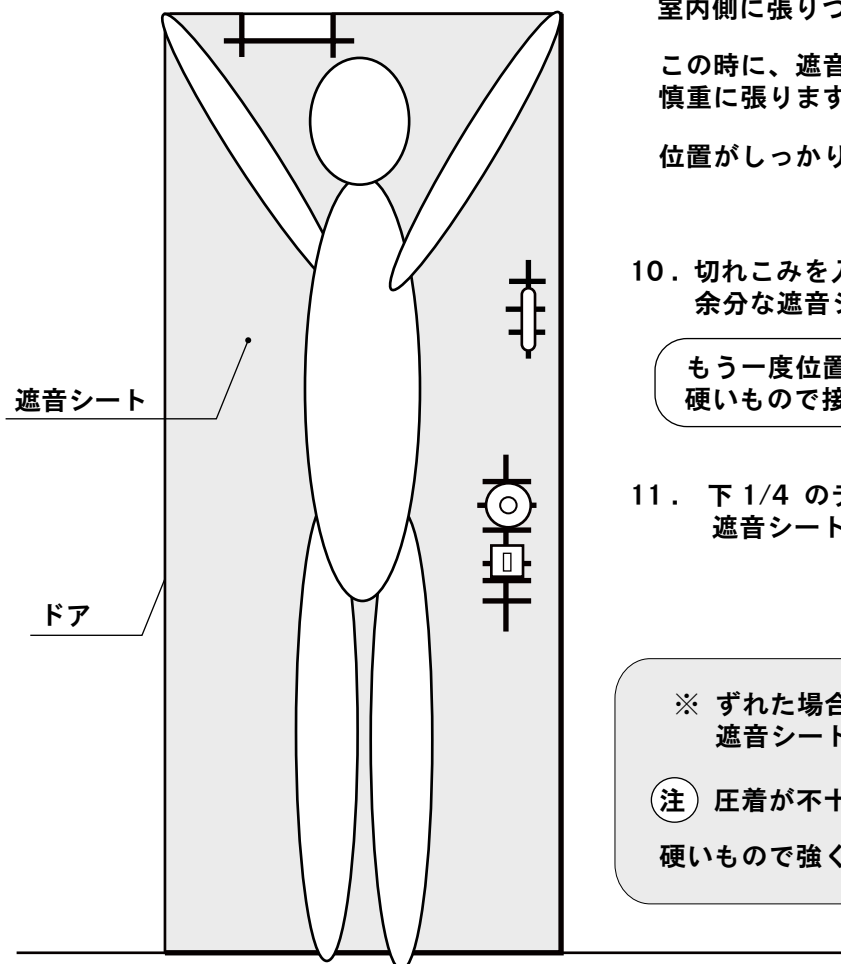
10. 切れこみを入れた部分から突出部を出し、余分な遮音シートをハサミで切り取ります。

もう一度位置を確認して、ずれてない事を確認したら、硬いもので接着部分を上から押しつけます。

11. 下 1/4 のテープのはく離紙をはがして遮音シートを圧着すれば 1 枚目は完成です。

※ ずれた場合は、遮音シートを部分的にはがしながら、調整します。

⑦ 圧着が不十分だと、時間の経過と共にはがれますので硬いもので強く押し付けてください。



12. 重ね張りする場合、手順は 1 枚目と同じですが、両面テープは、すべて強力両面テープを使います。
(スコッチカーペット用両面テープは、2 枚目には使用しません。)

13. 仕上げは、壁紙を貼るか、塗料を塗ります。

塗料を塗る時、他の部分に塗料がつかないように十分にマスキングをしてから行なってください。

塗料を塗って仕上げる場合は、塗料を薄めないで3度塗りを行います。(遮音シートの文字が見えなくなるまで)

※塗料は、水性アクリル塗料を使用してください。

14. ドアに張りつけても隙間があるため、防音効果があまり出ない場合がありますが、室内の空気換気上、隙間をある程度残して、遮音シートを重ね張りする事で対応してください。

(隙間を塞ぐには、市販の防音戸当たりテープ等 があります。)